

# 年頭の御挨拶

新年おめでとうございます。  
県民の皆様におかれましては、気持ちも新たに、新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害が我が国を襲い、多くの尊い人命が失われ、依然として数万人の被災者が不自由な生活を強いられています。

沖縄県内にも現在五百人余の被災者が避難されており、県としては東日本大震災支援協力会議を立ち上げ、全力を挙げて被災者の皆様の支援にあたっているとこ

ろです。  
また、防災対策につきましても本県の防災計画を見直し、安心・安全な県土の形成に全力を挙げてまいります。

さて、県内に目を向けますと、昨年十月に行われた「第五回世界のウチナーンチュ大会」では、世界各国から五千名余のウチナーンチュが沖縄に集結し、世代を超えて受け継がれてきたウチナーンチュの絆を確かめ合うとともに、新たな絆が生まれ、次世代を担う若者からウチナーネットワークの継承、拡充について提案が

本計画は、「沖縄二十一世紀ビジョン」で掲げた将来像の実現や固有課題の克服を目指すものと位置づけ、その内容を沖縄県が決定していくこととしております。

その目的は、「強くしなやかな経済の構築」と「沖縄らしい優しい社会の構築」を施策展開の基軸とし、「時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな『美ら島』おきなわ」の実現を図ることにあります。

また、県政の重要課題である米軍基地問題につきましても、日米両政府に対し過重な基地負担の軽減や、普天間飛行場の県外移設などを引き続き求めてまいります。

平成二十四年は、復帰四十周年の節目の年となります。復帰四十周年記念事業として、復帰四十周年記念式典、第六回太平洋・島サミット、第七十七回日本オープンゴルフ選手権競技、第三十二回全国豊かな海づくり大会などが開催されます。全国豊かな海づくり大会では、沖



あるなど、実り多い大会となりました。

また、十一月には沖縄科学技術大学院大学が創設されました。同大学院大学は、世界的にも優れた科学技術の研究・教育を行うことで、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に資することを目的としており、将来、沖縄県の産業振興にもつながっていくものと期待しております。

県では、沖縄の振興発展をどう図っていくのか、多くの県民の皆様から様々な意見をいただきながら、平成二十四年度から始まる新たな計画の策定を進めております。

縄の青い海と豊かなサンゴ礁を世界の宝として未来へ引き継いでいくことをアピールしてまいります。

県民の皆様におかれましては、県政運営に対し、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が県民皆様にとって良い年になりますよう祈念しまして、新年の御挨拶といたします。

平成二十四年一月一日

沖縄県知事 仲井眞弘多



## 目次

- 2 年頭の御挨拶
- 4 **特集1** 県政この一年
- 6 **特集2** 県職員の給与の状況
- 8 **特集3** 世界最高水準 沖縄科学技術大学院大学が創設!
- 10 飛び出せOKINAWA!! ヒト・モノ・企業のグッドジョブ 「沖縄県産品映画」
- 12 県のうごき1 おきなわ花と食のフェスティバル2012
- 13 県のうごき2 金型産業の振興による県内ものづくり産業の活性化
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和 「名護市」

### 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは  
県広報課ホームページで  
ご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020

表紙について

次代へつなげたい沖縄

師匠から弟子へつなぐ「琉球ガラス」  
沖縄で初めてガラスが作られたのは明治中ごろで、1960年ごろになると輸出するようになり、そのころガラスには「ryukyu」の印を入れ始めており、これが「琉球ガラス」という名前が使われた最初といわれています。

(撮影協力：吹きガラス工房)



## 6 職員の平均給与月額、平均年齢の状況

(平成23年4月現在)

	給料	手当	平均給与月額	平均年齢
一般行政役職	319,000円	+ 47,040円	= 366,040円	41歳8月
現業種	339,200円	+ 47,644円	= 386,844円	50歳7月
高等学校教育職	362,700円	+ 47,069円	= 409,769円	41歳8月
小・中学校教育職	371,600円	+ 45,732円	= 417,332円	43歳7月
警察職	326,000円	+ 112,623円	= 438,623円	39歳7月

※平均給与月額は、平成23年4月分の給料と諸手当(扶養手当、時間外勤務手当など)の合計を平均したものです。

## 7 職員の手当の状況

(平成23年4月1日現在)

区分		支給内容		国の制度
末期・勤務手当	期末手当	2.6月分		2.6月分
	勤勉手当	1.35月分		1.35月分
	計	3.95月分		3.95月分
	平成22年度平均支給額	1,428,295円		-
区分		自己都合	勸奨・定年	国の制度
退職手当	支給率	勤続25年	41.34月分	同
		勤続35年	59.28月分	
		最高限度倍率	59.28月分	
	平成22年度平均支給額	5,417,661円	26,578,281円	-
内容		手当額(月額)		国の制度
扶養手当	扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母など)のいる職員に支給	配偶者	13,000円	同
		子など	6,500円	
		16~22歳の子1人につき	5,000円加算	
住居手当	住居を借り受け、または所有している職員に支給	借り受け	27,000円まで	異
		所有	2,500円	
通勤手当	通勤距離が2km以上で、バスなどを利用している職員に支給	バスなど	6カ月定期券などの価額	異
		自家用車	距離に応じ2,300~40,000円	

## 8 特別職の給与等の状況

(平成23年4月1日現在)

知事などの特別職の給与などについては、県内各界の代表者などで構成する「沖縄県特別職議員報酬等審議会」の答申を受けて、条例で定められています。

給料月額及び議員報酬		期末手当の支給割合	
知事	1,116,000円	6月期	1.4月分
副知事	911,400円		
議長	990,000円	12月期	1.55月分
副議長	850,000円		
議員	760,000円		
計		計	2.95月分

※知事、副知事の給料月額は減額特例措置を受けた後の額です。

## 9 特例的な措置(平成23年12月現在)

本県の厳しい財政状況をふまえ、一般職の管理職員に支給される管理職手当について、15%の減額特例措置を行っています。

また、給料月額について、知事10%、副知事7%の減額措置を、知事・副知事・公営企業の管理者・病院事業の管理者・常勤の監査委員・教育長・大学の学長の期末手当については、それぞれ15%の減額特例措置を行っています。

詳しい内容は、県公報や人事課ホームページで、ご覧になれます。

# 県職員の給与の状況

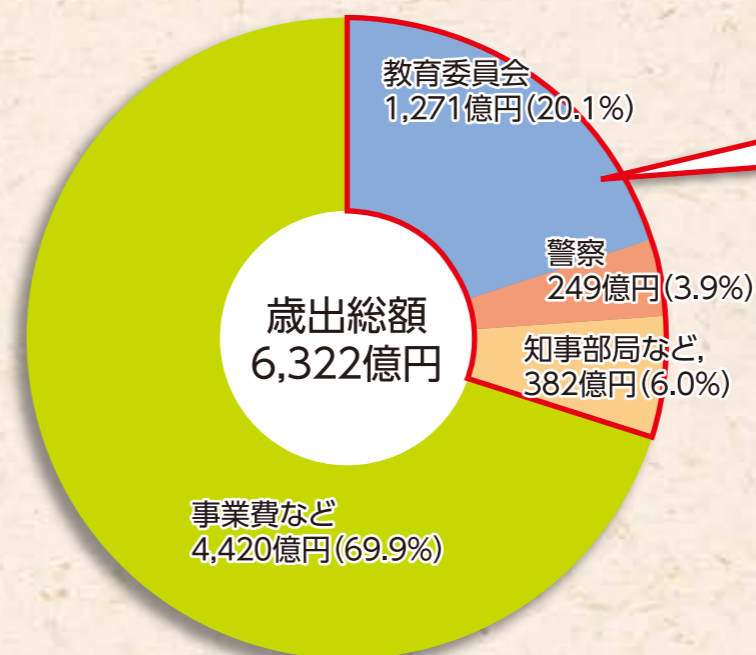
県では、福祉、教育、商工、土木、農林水産、警察など県民生活に係る仕事を行っており、これらに携わる職員が約22,800人(公営企業事業の職員を含む)います。

### 1 給与決定の仕組み

人事委員会は、毎年、県内の企業規模50人以上の民間企業などの給与実態を調査して、県職員の給与について勧告を行っています。  
この勧告に基づき、県議会の審議を経て、条例により給与が決定されています。



### 2 人件費の状況(平成22年度普通会計決算)



人件費 1,902億円(30.1%)  
(前年度の人件比率 31.1%)

特別職報酬など……31億円  
給料……891億円  
期末・勤勉手当……309億円  
職員手当……158億円  
退職手当……201億円  
共済負担金……287億円  
その他……25億円

### 3 職員数の状況(部門別職員数の状況)

(各年度4月1日現在)

部門	平成22年度	平成23年度	対前年度増減
一般行政部門	3,958人	3,919人	△39人
教育関係	13,260人	13,311人	51人
警察関係	2,865人	2,873人	8人
小計	20,083人	20,103人	20人
病院事業	2,348人	2,388人	40人
水道事業	259人	256人	△3人
下水道事業ほか	102人	97人	△5人
小計	2,709人	2,741人	32人
合計	22,792人	22,844人	52人

※職員数は、一般職に属する職員数で地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いています。

### 5 職員の初任給の状況

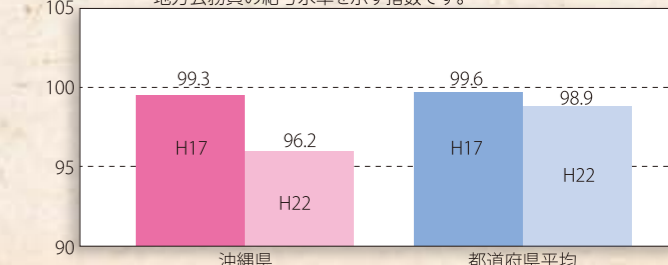
(平成23年4月1日現在)

部門	県	国	
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円 II種
	高校卒	140,100円	140,100円 III種
現業職	高校卒	137,200円	-
	中卒	129,200円	-
高等学校教育職	大学卒	192,800円	-
	短大卒	166,300円	-
小・中学校教育職	大学卒	192,800円	-
	短大卒	168,600円	-
警察職	大学卒	187,500円	187,500円 III種
	高校卒	158,100円	158,100円 III種

※採用前の経験年数により、加算される場合があります。

### 4 ラスパイレス指数の状況

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。



お問い合わせ 県人事課 TEL:098-866-2090 FAX:098-866-2033



世界中から集まった研究者(写真提供:OIST)

**Q.「学際的」?**

**A.** 少々難しい言葉ですが、「学際的」とは1つの研究の具体的な目的に限定することなく、複数の分野の研究も取り込んだ研究を行うことなどをいいます。

**Q.「知的・産業クラスター」?**

**A.** クラスターとはブドウの「房(ぶさ)」のようなもので、幾つかが集まってひと固まりとなったものを意味します。大学や公的機関などを核に、ベンチャー企業や中小企業などが連携し、独自の技術開発に基づくイノベーションを生み出す仕組み、あるいはそのような取り組みのことをいいます。

ていくことが重要です。また一方でOISTは、優秀な研究者や学生が内にこもって教育及び研究を行うだけの閉鎖された垣根の高い大学ではなく、地元恩納村で小学生向けの「こどもかがく教室」を定期的に開催したり、全県域

OISTが開学するにあたり、研究者や学生、またその家族が快適に暮らせるように国際的な居住環境の利便性向上を図り、県内の大学や研究機関、企業などとの連携や交流を容易にする仕組みづくりが重

**OISTの周辺整備**

また、どの大学にも必ず大学院があるとは限りません。逆に、学部を持たず、大学院だけを持つ大学を「大学院大学」と呼びます。OISTも学部を持たず、大学院だけを持つ大学院大学です。

五年間の博士課程を修了し、「博士論文」を提出して、審査に合格すると、「博士(はくし)」の学位が取得できます。二年間で「修士(しゆし)」という学位を取得できる場合もあります。

四年制の大学(学部)を卒業した後、さらに勉強をするために進学する場所です。大学院では、講義や指導を受けながら、実際に研究を行います。大学院生にとっては研究者になるためのトレーニングの場所でもあり、同時に、研究者が仕事をしている場所でもあります。

**大学院って何?**

の高校生にキャンパスツアーを呼びかけたり、地域の各行事には積極的に参加するなど「コミュニティー」の繋がりを大事にしています。



ジョナサン・ドーフン学長 (写真提供: OIST)

撮影: 東出 清彦



**世界最高水準 沖縄科学技術大学院大学が創設!**



創立記念式典の様子(写真提供:OIST)

**OISTの概要**

二〇一〇年六月、OIST構想が当時の内閣府特命担当大臣によって提唱され、二〇一〇年四月にOIST建設予定地として恩納村が選定されました。丘陵地にある恩納キャンパスは亜熱帯の豊かな森に囲まれ、また大変美しい沖縄本島西海岸を見下ろすことができます。この理想的なロケーションは世界最高水準の

二〇一〇年十一月、国家プロジェクトとして進められてきた「沖縄科学技術大学院大学」[Okinawa Institute of Science and Technology] (OIST) がこの沖縄に創設されました。

OISTは、世界的にも優れた科学技術の教育及び研究を行うことで、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に資することを目的としており、二〇一二年九月に開学を予定しています。

研究を行うのにふさわしい環境であり、斬新かつ国際色あふれるキャンパスの実現を目指しています。ではOISTはどのような学校なのでしょう。OISTには次の特徴があります。

- 学際的かつの研究科(科学技術研究科)への専攻(科学技術専攻)
- 五年一貫性の博士課程のみ
- 五十名規模の教授陣で毎年約二十名の学生の受け入れ
- 教育及び研究は英語で行う
- 学生、教員の半数以上は外国人となることを想定

現在OISTには、生命科学、物理科学、環境科学といった分野から既に五十名近くの世界トップクラスの教員が着任し、研究を開始しています。さらに今年九月以降、世界中から選りすぐられた優秀な学生が毎年二十名ずつこの沖縄に結集し、学際的で先端的な教育及び研究活動を行います。

将来像としては、OISTを核とする地域に根ざした知的・産業クラスターを形成し、先進的な研究開発成果を沖縄県の産業振興に繋げ

要となります。

生活支援環境整備、医療環境整備、教育環境整備、交通基盤整備など分野別に整備を促進させる必要がありますが、例えば教育環境整備では、二〇一一年四月にうるま市で「アミークスインターナショナル(AMICUS)」が開校しました。OISTの設置は、産業振興だけでなく、沖縄の子ども達が英語や科学に触れる機会が増え、人材育成にも大きく貢献します。



中庭から施設を望む(写真提供:OIST)

**OISTの展望**

今後はOISTがどのように沖縄に根付き、世界最高水準を目指し発展していくか。また地元沖縄が



キャンパスツアーの様子(写真提供:OIST)

**キャンパスツアー**

広く県民及び来訪者に対しOISTをより身近なものと感じて頂くことができます。二〇一一年四月から随時キャンパスツアーを実施しています。

※詳しくは、OIST地域連携セクションまで TEL:098(966)2184 <http://www.oist.jp/ja/about-oist/campus-tours.html>

**解説 ※AMICUS**

AMICUSはOIST子弟の受け皿になることを期待して、県地元うるま市、旺文社が協力して設置した学校で、インターナショナルコースとイメージングコースの二つのコースがあり、幼稚園から中学三年までの一貫教育を行っています。現在は幼・小四までの約二〇〇名の児童が入学しており、ゼロから英語を学ぶ子どもも半ばは一定の英語力が身につけており、小学校卒業時までは全員が英検二級の取得を目指しています。課外活動も多彩で、馬術クラブやゴルフ、空手、陶芸教室などがあります。卒業後は国内の高校にも進学できるほか、海外の提携校も順次増やしていきます。七台のスクールバスが運行し沖縄本島全域を通学圏内としています。

お問い合わせ 県科学技術振興課 TEL:098-866-2560 FAX:098-866-2799

# 飛び出せ!! OKINAWA ヒト・モノ・企業のグッジョブ

## 沖縄県産品映画

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められているヒトやモノ・コト、企業のあふれるパワーをお届けします。

多くの映画ファンに支持されています。

今回のグッジョブは最近、国内外から熱い視線が注がれている「沖縄県産品映画」が主役です。



年間400本以上の映画を上映している「桜坂劇場」

国内、海外からも熱い視線が注がれる「沖縄の風景」

県民の身近な娯楽として人気の映画。近年、沖縄独特の歴史や文化、美しい自然などを題材とした映画が数多く製作され、「県産品映画」として注目されています。さらに沖縄での国際映画祭の開催や、沖縄の美しいロケーションを韓国映画で活用するなど沖縄県の映画産業の可能性は大きな広がりを見せています。

「沖縄の風景などの映像ニーズは国内だけでなく海外からも高まっている」とあり、ロケ数はCMも含めると国内ダントツ。亜熱帯独特の気候風土や他の地域にはない人やモノの魅力がプラスに働いている」と話すのは桜坂劇場専務取締役の上原力さん。ミニシアターながら、県産品映画を含む年間四百本以上もの映画を県民に提供する中でこの好機に期待を寄せています。

沖縄独自のテーマがディープに描かれる「沖縄県産品映画」

県出身監督による県産品映画といえば、新城卓の「オキナワの少年」や高嶺剛の「ウインタマギル」、そして

度にして映像特区を作り、映画製作のワンストップサービスを実現して欲しい。沖縄ならではの『海の映画祭』の開催も！」と沖縄で映像を特産物にして興行的にも支援する公的なシステムを切望しています。世界の評価を集める良質の県産品映画が、沖縄の産業を拓くチャンスになるかもしれません。



桜坂劇場では洋画・邦画以外に沖縄県産品映画も数多く上映

桜坂劇場専務取締役上原力さん

「最近では観光地的な沖縄よりも、よりディープな沖縄を描く映画が増えており、映画のプロたちが独自の視点で沖縄に目を向けている」と上原さんは語ります。

「中江裕司・真喜屋力・當間早志の『パイナップルツアーズ』、岸本司の『アコークロー』、そして最近では、製作当時十四歳だった仲村颯悟の『やぎの冒険』などが挙げられます。特に『やぎの冒険』は監督・脚本・製作スタッフ・キャストのすべてが沖縄という純県産品映画。『新世代映画祭(カナダ)』や『ソウル国際青少年映画祭』上海国際映画祭で正式招待作品に選ばれ、世界的にも注目されています。



やぎを食べる沖縄の文化を通して少年の成長を描いた『やぎの冒険』

映画産業活性化の起爆剤となる「映像特区」を沖縄に!

ドキュメンタリー映画「よみがえる琉球芸能 江戸上り」が昨年、映画文連アワード2011を受賞し、その前年には「浦添ようどれよみがえる古琉球」が同アワードで

優秀企画賞を受賞。ローカルヒーローを題材とした『琉神マブヤー』も映画化されるなど、県産品映画は芸術性や文化性の高さ、テーマの多様性が広く評価されています。「県産品映画は異文化理解につながり、歴史や文化の啓蒙もできる」と上原さん。フィルムオフィスを高

### 活躍する若手監督さん

若手監督の仲村颯悟さんを紹介!

チームワークを大切に沖縄の題材にこだわって映画を撮り続けたい

「やぎの冒険」映画監督 仲村 颯悟 さん



「やぎの冒険」を撮影中の仲村颯悟監督

小学校3年生のときからビデオで映画を撮りはじめました。自分の作品が「県産品映画」と呼ばれるのは誇らしい気持ちで、沖縄にはやぎを食べる独特の文化以外にも歴史や民話など映画の題材が豊富。海外の映画祭では笑う箇所が日本人と違ったり、受け取り方が違うのが新鮮で、映画で異文化交流をしている気持ち。今取り組んでいるのはジュゴンの自主製作映画。いつか沖縄のホラー作品も撮りたい。



2012年1月7日より全国公開「琉神マブヤー THE MOVIE 七つのマブイ」(C)2011琉神マブヤーTHE MOVIE製作委員会



ドキュメンタリー映画「よみがえる琉球芸能 江戸上り」本番舞台の御座楽5のシーン (c)蘇る琉球芸能 江戸上り映画製作実行委員会

映画に映し出される沖縄の独特の風景も魅力の一つになっています。



世界から認められたポイント!

仲村颯悟監督の「やぎの冒険」が世界的に注目されたのは、十四歳の若さで劇場用長編映画を撮ったことと興行的な成功が挙げられます。上原さんは、「沖縄の風景やそこに住む人間には力がある。特異な歴史に培われた精神の豊潤さがある沖縄は、テーマもそこで生まれ育った監督の観察眼も他の地域とは異なる」と評価。県民の映画に対する民度や感度の高さもそれを支えているようです。

2 金型産業の振興について

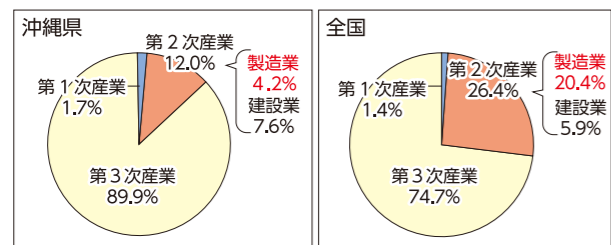
3 県の取り組みについて



素形材産業賃貸工場 (金型技術研究センター)

製造業が伸び悩んでいる原因と

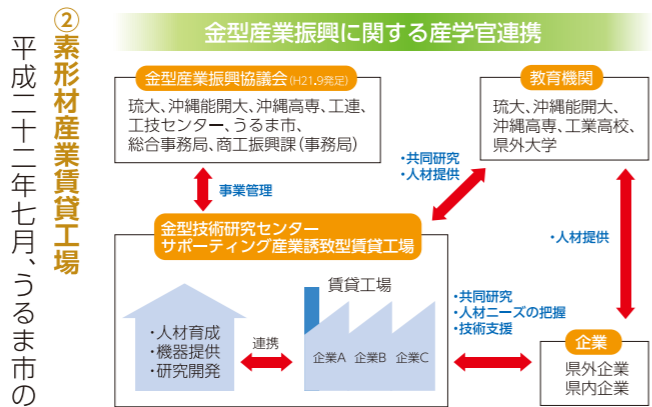
産業別県(国)内総生産(名目)の構成比(平成20年)



※別に附属子等の控除される項目もあるため第1次産業～第3次産業の合計の数値が100%を超える。  
※沖縄県は年度、全国は暦年の値。  
資料:「国民経済計算年報」及び「県民経済計算」

①金型産業振興協議会  
金型産業の振興を図るため、平

②素形材産業賃貸工場



特別自由貿易地域に、金型等製造  
平成二十二年七月、うるま市の

③沖縄県金型技術研究センター



これまで沖縄県工業技術セン  
ターで行ってきた機械金属系の研  
究開発、技術支援を金型技術に特  
化して、取り組むため平成二十二  
年四月に設立されました。現在、素  
形材産業賃貸工場と併設する形で  
人材育成、機器提供、研究開発と  
いった活動を行っています。

お問い合わせ 県商工振興課 TEL:098-866-2337 FAX:098-866-2447

おきなわ花と食のフェスティバル2012  
〜ていだサンサン食べたらがんじゅつ沖縄産!〜

「地産地消をテーマに、二月四日(土)・五日(日)の二日間、奥武山総合運動公園で「おきなわ花と食のフェスティバル2012」を開催します。

○地産地消とは

地産地消とは、「地域で生産されたものを地域で消費すること」を意味しています。

近年、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりや生産者の販売の多様化の取り組みが進む中で、消費者と生産者を結び付ける「地産地消」は広く普及してきました。

○イベント内容

おきなわ花と食のフェスティバルでは、新鮮で良質な沖縄の農林水産物および加工食品等を、県民をはじめ観光で訪れる観光客に広く紹介することにより、消費拡大、地産地消の推進を図っています。

沖縄は美しい花や美味しい食材の宝庫です。会場では県産農林水産物を見て、食べて、体験して、その良さを再発見できるイベントを今年も多数用意しています。

ぜひ会場へ足をお運びいただき、県産農林水産物の新たな魅力に触れてください。

○新企画

「OKINAWANカッパブルメ」  
県産農林水産物を活用し、いつでもどこでも気軽に食べられる沖縄の味を「OKINAWANカッパブルメ」として紹介

「地産地消ブーケ制作体験教室」  
県産野菜を使用し、見て、食べて楽しめる「ブーケ」の制作体験教室

「うちなー島ヤサイ料理コンテスト」  
島ヤサイを使ったオリジナル料理レシピを提案する「うちなー島ヤサイコンテスト」の入賞作品の展示・試食

その他

農林高校生によるフラワーアレンジ展示会、有機農業など環境保全型農業展示コーナー

日時 二月四日(土)・五日(日)

午前10時～午後六時  
場所 奥武山総合運動公園、武道館、セルラースタジアム周辺



県産農林水産物キャラクター「イサーくん」



「主なイベント」

見て!

園芸フェア (武道館)  
花き・野菜・果樹品評会  
フラワーデザインコンテスト  
いけ花・おし

花体験教室

いちおし産地展示コーナー  
フードアドバイザーによる県産野菜の紹介

市町村コーナー

ご当地食材(野菜、加工品)や料理、民芸に関する展示・試食・販売

食べて!

こだわりのエフのクッキングプラザ  
県産食材料の紹介・試食・料理講習

JACコーナー  
県産食材を使った地産地消うまなち鍋  
ファーマーズマーケットを中心とした県産農産物等の試食・販売  
まーさん市場  
県産畜産物(牛・豚・鶏・卵)、加工品の試食・展示・即売  
地産地消B級ブルメ  
地元食材を使用した創作B級ブルメの紹介

体験っ!

おいしい島野菜料理体験教室  
まちと村の交流体験バスツアー  
海・畑・食の体験バスツアー  
農作物収穫体験、農作物料理体験  
県産養殖魚とのふれあい体験(水槽水産加工品の試食・販売)

山の市

木の枝など自然素材を活用した木工体験教室、県産きのこ試食・販売

サーターヤ

黒糖・つくり実演・試食・製器販売等  
※内容は都合により変更になる場合があります。

お問い合わせ 流通政策課 TEL:098-866-2255 FAX:098-862-7519



**ごみ分別の成果**  
**ごみ問題は、市民と行政の協働が継続のカギ**  
 市民の理解が大切だと  
 思ったのね。

一般廃棄物最終処分場の満杯問題を抱えていた名護市。満杯が予想される年の前年、平成二十二年二月から、県内最多ではないかといわれる十六区分のごみ分別と一部有料化をスタートさせました。この細かいごみ分別は、市民の協力もあり、可燃ごみ全体で前年度の三十%減、家庭系のごみにいたっては四十五%の減少につながり、同処分場の利用年数は大幅に延長できました。

「この成果を持続させ、息の長い取り組みするには、実際に家庭でごみ分別に当たる市民の理解が不



環境フェアでは、普段見ることのできない、ごみ収集車の中の様子も紹介。子どもたちは大興奮



環境フェアで行われた、家庭から出た廃食用油を使つてのアロマキャンドル作り

食器が、小中学校の部活動の食事会や高校の文化祭、飲食店のイベント出店などで利用され、ごみ減量につながったと喜ばれました。また、同施設では、ごみの十六分別の基礎情報や同市のごみ処理状況、地域の環境問題のパネル展示のほか、廃食用油を使ったアロマキャンドル作りのイベントを同市環境フェアで行うなど、施設外での活動にも積極的に参加しています。

# 名護市

**ごみ問題を行政と市民が協働で取り組むための拠点から、たくさんの可能性が羽ばたこうとしています。**

可欠。そのためには、タイムリーに情報発信できる場所、行政と市民がつながる場が必要だと考えました」と同市企画部環境対策課の謝花良竹さん。

こうして地域の環境問題を市民と行政がいつしよに考え、行動する拠点として「名護市エコステ3Rなごころ」が平成二十三年七月にオープン。3Rとよばれるリデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化)の推進事業と、市民の環境活動推進事業、市民サービス事業という三つの事業を柱に歩み始めました。

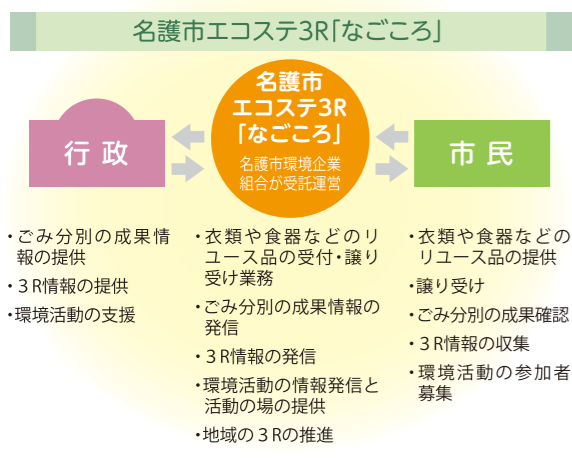


左から謝花さん、3R推進業務委託員の宮城繁人さん

**ごみの可能性**  
**3Rへの取り組みは、さまざま可能性に満ちている**  
 3Rは、産業や雇用創出も期待できるのね。

利用者の口コミなどで少しずつ会員が増えてきた「エコステ3Rなごころ」は次に、市民団体「なごころの会」の設立へ向けても動き出しました。同会は、同施設を拠点に、家庭で行える簡単節約生活の実践講習会やフリーマーケット、ボランティア清掃などを企画・実施する会を目指しています。

現在、行政担当者、なごころ運営管理者、市民代表が集まり、来年四月からの本格稼働に向けて準備中。また、整理箱や自転車などの使用可能な粗大ごみの無料回収も目指しています。



**利用者目線**  
 午後7時まで、土日祝祭日も開いています  
 仕事帰りに立ち寄れるって助かる!

「名護市エコステ3Rなごころ」は午後七時まで開いています。「忙しい共働きの方々も気軽に利用できるように思いました。実際、仕事帰りに立ち寄る主婦も多い。土日祝祭日も開いています」と語ってくれたのは、同市から委託を受けて運営管理する名護市環境企業組合の仲宗根あきさん。

施設の利用システムはシンプル。衣類や食器などのリユース品の持ち込みができ、二百円の登録料を支払って会員登録すれば、そのリユース品の譲り受けができます。

オープンから四カ月。現在、会員は三百八十名で、衣類や食器が市民の間で循環しています。たとえば同市の給食センターで使わなくなった



施設の運営管理を担う名護市環境企業組合の皆さん。左から仲宗根さん、理事の長嶺浩一さん、代表理事の比嘉孝也さん

「ごみにかかると市の財政負担が減れば、その分の予算を教育や福祉にまわせたり、資源の再利用は産業や雇用の創出にも」と、謝花さんの言葉にも力が入ります。3Rの推進を通して市民と行政の心をつなぐ「エコステ3Rなごころ」は、多くの可能性に満ち、地域の期待を集めています。



なごころへの期待を市民の側から語る、左から池田正秀さん、坂下さん

「ごみ問題の解決は、市民と行政が両輪で進めることが大事なのね！」

## 編集後記

年末年始は忘年会、新年会と、親戚や友人で集まる機会が増えます。その結果、正月休みに浮き足立っている私は、冬の寒さの中ついつい遅くまで出歩いてしまい、毎年風邪を引いてしまうのが恒例。今年こそは万全の体調で新しい一年を始められるよう、外出はほどほどにしようと思います。(kai)

新年明けましておめでとうございます。今年は沖縄県本土復帰40周年と節目の年にあたります。また、私の干支でもある辰年ということもあり、個人的にも何か良いことが起きる気がしてなりません。県民の皆様や沖縄県にとっても、素晴らしい年になりますように!! 今年も「美ら島沖縄」をよろしくお願いします。(tama)

平成24年1月1日発行 第36巻1号通巻436号  
 沖縄県広報誌 **美ら島沖縄**  
 企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課  
 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

**アンケート**  
 「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら [美ら島沖縄](#) 検索

▶ 携帯電話は、右のQRコードから



エコステ3R「なごころ」は、ひんづんガジュマルのすぐ近く。黄色い看板が目印



エコステ3R「なごころ」施設内。衣類や食器のリユース品や、ごみ関連のパネルを展示、紹介

